

## 資料編

1	資料名	おおかぜに ふきとばされないようにね	学年	1・2年
---	-----	--------------------	----	------

1 ねらい

身近な動植物に親しみ、それらがかけがえのない命を持っていることに気づき、命を大切にしようとする。

2 趣旨

この資料は、激しい風雨の日にアオバズク（フクロウ目フクロウ科）の親が翼を精一杯広げて、雛を守ろうとしている場面である。我が身を挺して雛を守りぬこうとしている姿から、親鳥の愛情や命の尊さに気づかせる。

3 参考

親鳥や雛鳥を不安にさせないことで、命を大切にし、生き物との共生に配慮されながら撮影された、ということ念頭に置いて指導する。

命の尊さ、親の愛情に気づくという観点から、「あったかいね」の指導と関連させて扱うことも可能である。「あったかいね」は、自分の家族をもとに命の大切さやつながりに気づかせていく資料であるが、動物の家族も同じように親が子を守り、愛情を注いでいることに気づかせ、命の尊さについて考える機会とすることもできる。

15	資料名	なかよし すごろく	学年	1・2年
----	-----	-----------	----	------

1 ねらい

友だちとコミュニケーションを図りながら楽しくゲームをする。

2 趣旨

ゲームをする中で、お互いの個性にふれあい、自分や友だちのことについて知ったり、友だちとコミュニケーションをとったりすることの楽しさを味わわせる。

このすごろくには、「自分のことを知ってもらう」「友だちを知る」「自分のよさに気づく」「友だちのよさに気づく」「自分の夢を語る」「体を使ったコミュニケーションやふれあいをする」などの視点を含めている。

ゲームを通して自尊感情の育成を図る。また、友だちの新たな一面を知り、相互理解を深めることや、コミュニケーション力を高める。

3 配慮事項

グループ編成では、言葉や体で表現することが苦手な児童など、一人一人の特性に応じた配慮をする。また、自分たちでルールを作るなど、楽しく遊べるよう工夫させてもよい。

編成は1グループ4～5名程度、活動は30分程度を目安に作成している。

事前準備として、図工科の学習でコマやサイコロを制作することや、事後指導として、活動を通して培われた力や分かり合えたことを学級づくりをはじめ生活場面に生かすことが効果的である。

27	資料名	「4ひく1は」	学年	1・2年
----	-----	---------	----	------

#### 1 ねらい

国や生活環境が違って、真剣に学んでいる同年齢の子どもたちの姿に気づく。

#### 2 趣旨

世界にはさまざまな環境の中で子どもたちが生活しているということを知るとともに、国や地域が違って精一杯学んでいるという新たな発見から、外国の子どもたちの存在をより身近に感じさせる。

#### 3 配慮事項

物質的に豊かであるとか貧しいということではなく、その環境の中で精一杯学習している子どもたちの表情や眼差しに注目させる。

#### 4 参考

1993年にペニン共和国（アフリカ）で撮影された写真。

「ペニン」は、(財)日本ユニセフ協会での呼び名であり、教科書（地図帳）では、「ペナン」と表記している。

ペニンは、アフリカ大陸の中部の大西洋ギニア湾北岸に位置し、国土の大半は熱帯気候である。人口約870万人（2008年）、出生時平均余命61年（2008年）、成人識字率40.8%（2005-2008年）

（上のデータは

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/kuni/10\\_databook/pdfs/05-37.pdf](http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/kuni/10_databook/pdfs/05-37.pdf) から）

### 【参 考】

#### 11 うれしいね たのしいね

3年生からの「総合的な学習の時間」へつなげていくこともできる。

「ボランティア活動ハンドブック」（平成21年3月 兵庫県社会福祉協議会ひょうごボランティアプラザ）なども参考としたい。

資料に表されているもの（例）

- < 環境 >
  - ・ 公園でゴミを拾っている。
  - ・ 公園で落ち葉を掃いている。
  - ・ 川のごみを拾ってきれいにしている。
  - ・ 鳥の巣箱をかけている。
  - ・ 学校でそうじをしている。
  - ・ 学習園で水やり・花の苗植えをしている。
- < 福祉 >
  - ・ 車椅子を押している。
  - ・ 目の不自由な人を手助けしている。
  - ・ アイマスク体験をしている。
  - ・ 手話で話している。
  - ・ 公民館で手話を学んでいる。
  - ・ 入浴の介助をしている。
  - ・ ノンステップバスに乗っている。
  - ・ 盲導犬がいる。
  - ・ 杖をついている人がいる。
  - ・ 松葉杖をついている人がいる。
  - ・ 給食配達サービスをしている人がいる。
  - ・ 募金活動をしている人がいる。

- < 国際理解 >
  - ・ 学校で英語を学習している。
  - ・ 外国の人とインターネットで話している。
  - ・ 外国の人に案内をしている。
- < 異年齢交流 >
  - ・ いろいろな友だちと仲良く遊んでいる。
  - ・ 小さい子のお世話をしている。
  - ・ 高齢者と一緒に将棋、ゲートボール、凧あげをしている。
- < 情報 >
  - ・ 外国の人とインターネットで話している。
  - ・ 公民館でパソコン教室が開かれている。
- < そのほか >
  - ・ 横断歩道で子どもたちを見守っている。
  - ・ 男女ともに野球の練習をしている。
  - ・ 絵本の読み聞かせをしている。
  - ・ 献血をしている。

## 21 パクさんと いっしょに

### 用語解説

#### < チョゴリ >

韓国・朝鮮の民族衣装で、男の人が着るものを「パジ・チョゴリ」、女の人が着るものを「チマ・チョゴリ」という。

#### < ペンイ >

直径約 5 cm、高さ約 6 cm の木製のコマを、長さ約 40 センチの棒につけた約 50cm の布で、コマの胴をたたいて回す遊び。

#### < コンノリ >

日本の双六のようなもの。数がついている約 30cm ほどの棒を投げて、その合計数で進む。

### 参考資料

「国際理解に役立つ世界の遊び アジアの遊び 1」(平成 10 年 ポプラ社)など  
子ども多文化共生センター

県立国際高等学校(芦屋市新浜町 1-2)敷地内にある兵庫県教育委員会の施設。子ども多文化共生教育に関わる相談や、上記の書籍や玩具、民族衣装の貸出し等を受け付けている。

TEL : 0797 - 35 - 4537 <http://www.hyogo-c.ed.jp/mc-center>

平成 13 年発行小学校低学年用『ほほえみ』P.56 の「4 ひく 1 は」などを参考に、外国の子どもたちのことにもふれたい。

## 22 さがして みよう

### 用語解説

#### < ノンステップバス >

バスの乗降口に段差がなく、車椅子に乗ったまま昇降ができるように工夫されたバス。県内におけるノンステップバスの導入率は 40.9% で、全国第 6 位である。(平成 22 年度末現在)

#### < 天井走行式リフトシステム >

室内での水平移動のためのレール式移動装置。

#### < 盲導犬同伴可マーク > < 介助犬同伴可マーク >

平成 24 年 3 月現在、どちらのマークも、表示が < 補助犬同伴可 > に統一されている。

身体障害者補助犬同伴の啓発のためのマーク。身体障害者補助犬とは、盲導犬・介助犬・聴導犬のことをいう。平成 14 年に身体障害者補助犬法が施行され、現在では公共の施設や交通機関はもちろん、デパート、レストラン、ホテルなどの民間施設でも身体障害者補助犬が同伴できるようになった。